

1 事業の背景・目的

- ◆国の「医療提供体制の確保に関する基本方針」においては歯科医師等について、将来の需給状況を見通した適正な供給数の確保や病院における歯科医師等の活用など、地域の実情に応じた確保の必要性が示され、目指す姿については各都道府県単位で設定し、バックキャストで検討することが重要。
- ◆道内では、歯科専門職の地域偏在が生じており、特に、歯科医師では高齢化や後継者不足等により減少が見込まれ、限られた医療資源で地域の歯科分野の保健・医療提供体制を構築・推進していくことが求められている。
- ◆歯科保健医療提供体制の現状把握と将来的な需給推計を行い、基礎資料を得るとともに、関係機関と連携し、地域で持続可能な歯科保健医療提供体制を検討する。

2 事業の概要・スキーム、実施主体

【① 歯科保健医療調査・分析事業(委託)】

NDBデータ等各種データの分析をとおして、歯科保健医療の現状把握と将来的な需給推計を行い、地域で持続可能な歯科保健医療提供体制の検討に向けた基礎資料を作成。

調査・分析内容(案)

- NDB(National Database;レセプト情報・特定健診等情報データベース)等の分析
- 病院(歯科)と歯科診療所の機能分化や役割分担、かかりつけ歯科医の役割の実態把握等
- 圏域内での歯科保健医療に係る需給状況の把握や将来推計等

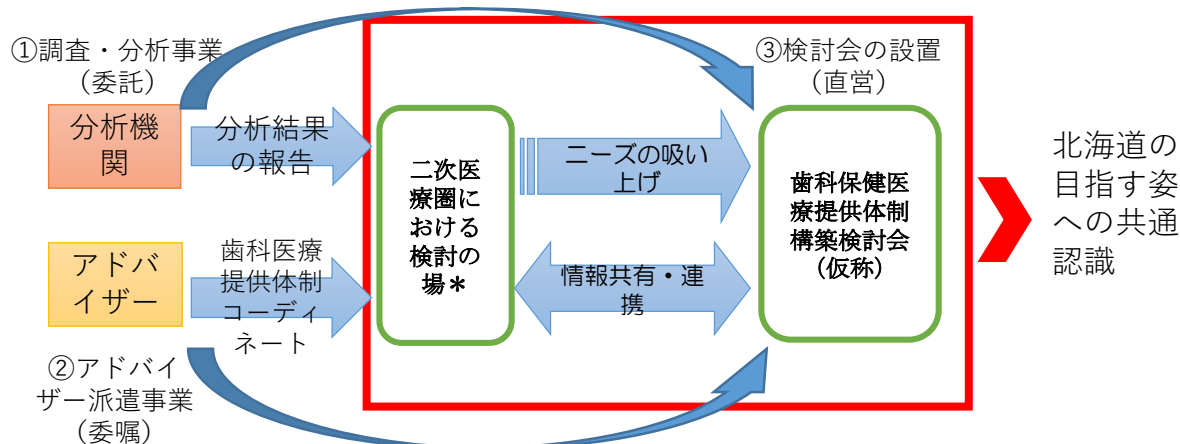
【② アドバイザー派遣事業(委嘱)】

①により得られた調査結果等をもとに、地域の要望の状況を踏まえながら、歯科保健医療提供体制構築検討に向けてアドバイザーを派遣。

【③ 検討会の設置(直営)】

歯科保健医療提供体制構築検討会(仮称)を設置し、①、②により得られた情報や二次医療圏での検討の場からの情報収集・還元等をとおして、北海道、市町村、医療機関、関係団体等がそれぞれの役割を理解し北海道が目指す姿について共有する機会とする。

事業イメージ



*保健医療福祉圏域連携推進会議歯科保健医療専門部会等での検討を想定

検討会のイメージ

